

循環器難治性疾患の「最後の砦」として高度先進医療に取り組む大阪大学医学部心臓血管外科。その医療チームが今夏、高校生向け早期医療体験プログラムを行います。

月曜から金曜までの5日間、早朝から医師と行動をともにして、実際の医療現場を体験。救命の最前線で「なぜ医師になりたいのか」を考え、「医師になる覚悟」を学びます。読売教育ネットワーク参加校の生徒を対象に、プログラム参加者を募集します。

日程 2017年8月の下記3枠

※各枠とも初日は6:45集合。集合・解散時間は日によって異なる。解散は15:00～18:30を予定。

第1枠	8月7日(月)～11日(金)
第2枠	8月14日(月)～18日(金)
第3枠	8月21日(月)～25日(金)

場所 大阪大学医学部附属病院(大阪府吹田市)

定員 全体で計10名程度

対象 読売教育ネットワークに参加している高校の2年生及び3年生。医学を強く志し、外科に関心のある生徒。

参加者募集!

参加者へのメッセージ

大阪大学の心臓血管外科には、症状の極めて重い患者さんが集まってきます。懸命に命と向き合う我々と1週間を共にして、外科医療の魅力と厳しさ、外科医の誇りを心で感じてください。そして、医師を目指す気持ちを見つめなおしてほしいと思います。



澤 芳樹 Sawa Yoshiki

大阪大学医学部心臓血管外科教授。1980年、同大医学部卒。重い心臓病の患者から採取した細胞をシート状に加工、心臓に貼り付けることで心機能を回復させる治療法を開発。iPS細胞(人工多能性幹細胞)から作った心筋細胞シートの開発を進めるなど、循環器再生医療分野で最先端の研究を進めている。

■ 応募方法

応募は学校長推薦で1校2人まで。参加希望生徒のいる学校は、下記の必要事項を添えて読売教育ネットワーク事務局(ednet@yomiuri.com)までメールでお申し込みください。応募締め切りは5月12日(金)。

メール件名:「大阪大学医学部プログラム申込」

①学校名 ②担当教諭名(電話番号、メールアドレス)

③参加希望生徒名と学年 ④希望枠(第1～第3希望まで明記)

⑤《添付》学校長の生徒推薦書
(書式自由。推薦理由、校内選抜などの有無を明記。選抜に小論文などを課した場合は添付)

⑥《添付》面接シート
(所定用紙を事務局ウェブサイトからダウンロードし、生徒本人が記入)

■ 担当医師による面接・選考

【日時】5月27日(土)9:00～

【場所】大阪大学医学部附属病院 ※結果は事務局から連絡します。

■ 参加が決まった生徒・学校へのお願い

課題文の提出

《課題》新聞から関心のある医療記事を選び、「なぜ関心があるのか」「そのテーマについて自分の考え」を詳述(記事の題名と掲載日を明記、約800字)

下記の一連の手続きを事務局が案内します。

- (1) 守秘義務に関する同意書
 - (2) 指定の感染症既往歴やワクチン接種歴などのアンケート。必要に応じて抗体検査
 - (3) 学校あるいは保護者の方には、生徒の傷害保険加入
- ※読売新聞や教育ネットワークのサイト等で紹介予定です。取材協力をお願いします。

問い合わせ 読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局

✉ ednet@yomiuri.com ☎ 03-6739-6985 (平日10:00～17:00) <http://kyoiku.yomiuri.co.jp/>

大阪大学への問い合わせはご遠慮ください。